

# コラム 『預けても大丈夫？ 子どもが？私が？？』

## レッスンでのエピソード ～育休中の方の託児に対するジレンマ～

私は岐阜で、産後の女性の心と体を両面からサポートする「産後のボディケア&フィットネス教室」を開催しているインストラクターです。レッスンでは、生後210日までの赤ちゃんと一緒に参加していただき、それを過ぎた方は信頼できる方に預けて単身で参加していただきます。赤ちゃんの安全の為、参加者がレッスンに集中していただく為など、いくつか理由があるのですが、この託児に躊躇される方も実際多くいらっしゃいます。

以前、育休中のAさんから「レッスンは受講したい。でももうすぐ職場復帰なので、今はできるだけ長い時間を子どもと過ごしたいし、長時間託児をしたことがないので不安だ」と相談を受けました。私も彼女の思いは痛いほどよく分かりましたが、「復帰前の自分に余裕のある今だからこそ、託児にチャレンジしてほしい！」とお伝えしました。育児は自分ひとりでも、夫婦二人だけでもできるものではありません。産後は人に委ねて感謝するということを学びつつ、できるだけ多くのサポーターさんを見つけることが、これからの育児を豊かなものにしてくれるはずです。

特に育休中の方は、復職後の家事と仕事の両立をスムーズにさせてくれる大きなポイント！また子どもにとっても、親以外の大人も信頼できるんだよ！ということも教えてあげられるいい機会になります。それを復職ギリギリになってやろうとすると、母子ともにストレスフルな状態になってしまいます。育休は赤ちゃんとの生活を楽しまつつ、新しい生活に向けての準備期間として過ごすとういと思えます。

その後、Aさんは不安な気持ちを抱えながらも初の託児に挑戦してクラスを受講、そして無事に復職されました。その後、偶然スーパーで会った時の彼女の明るい表情を見て、「あの時思いきってクラス受講を勧めて、本当によかった！」と思いました。

## 私が託児に踏み切るまで

今でこそ皆さんにガンガン託児を勧めている私ですが(苦笑)、実は私自身、娘が2歳半になるまで他人に預けられない人でした。私は専業主婦の母に育てられ、子どもが小さなうちは母親が育てるもの！という、いわゆる『3歳児神話』を信じていました。

その一方で、産後3ヶ月で在宅勤務として職場復帰し、半年後には週一度オフィスに出勤という現実があり、その間娘は実母に預けていました。しかし、母もまだ現役で働いており、私が預けるのは母の休日。娘が大きくなるに連れて、母の負担も大きくなり、どんどん母と私の間にはなんともいえない嫌～な空気が流れ始め、悶々とした日を過ごしていました。そんな時に会ったのがマドレボニータ。

インストラクターになろう！と思い、まずは勉強のための時間が必要でした。でももうこれ以上母に預けることは出来ない…。そこで一時保育をしてくれる場所を探し始めました。なかなかピン！とくるところがなく、諦めかけたところでようやく出会えた一つの保育園。いきなり押しかけたにもかかわらず(苦笑)、先生は私の不安な思いをしっかり受け止めてくださいました。

そしてドキドキの初託児。最初は1時間からスタートしました。とにかく新しい場所、新しい人には近づくことができなかった娘。案の定、先生に抱かれた時には、失神するんじゃないかと思うくらい泣きわめき、私もそんな娘を置いていくことにこの上ない後ろめたさを感じて、車の中で泣いたことを覚えています。その後も離れ際には泣きまじりましたが、徐々に時間を延ばしていき、1ヵ月後には自分からバイバイ！をしてくれるようになりました。それがまた寂しかったけど(笑)、お迎えに行くとき「ママ～！」と嬉しそうに駆け寄ってくれる姿にキューンとなり、ずっとベッタリだった時よりも一緒にいる時間が貴重に思えるようになりました。

それから4年経った今でもその保育園には度々お世話になっていて、この夏休みも娘は先生のお手伝いをし、小さな子の寝かしつけもできるようになりました。今やお局さんのようです(笑)。娘も私も最初はしんどかったけれど、それも今ではいい思い出。「子どもが慣れないかも…」なんて私が勝手に決めつけていただけなんだな、と今は思います。私だけでは経験させてやれなかったことをたくさん経験させてくれる保育園の存在に感謝しています。あ！その後、母との関係も良好になりました☆初めは託児にあまりいい顔をしなかった母ですが、娘がどんどん変わっていくのを見て、今や託児賛成派！先日お従兄弟のお嫁さんに「早いうちにいるんなら慣れさせておくといいよ！」なんてアドバイスしてましたよ(笑)。

**マドレボニータ**とはスペイン語で“美しい母”の意。自分自身のケアが後回しになりがちな産後の女性に向けて、産後ヘルスケアプログラムの開発・研究・普及をしている団体です。

マドレボニータと、NEC 社会貢献室との協働により、子育てしながら働く・働きたい女性のクオリティ・オブ・ライフ向上を目指すプログラム『NEC ワーキングマザーサロン』を2009年から全国で展開しています。岐阜でも2010年度に1回、2011年度は2回開催しました

◆NEC ワーキングマザーサロン <http://blog.canpan.info/wms/>

NPO法人マドレボニータ認定産後セルフケアインストラクター 山本裕子

◆公式HP <http://www.madrebonita.com/>

◆blog『GIFT』 <http://ameblo.jp/madre-giftgiftgift/>

